

一般社団法人日本人間工学会第10回理事会 議事録

1. 開催日時：平成23年5月7日（土） 14:00～17:00
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館2F 524会議室
3. 出席者：
 - ・理事会構成員(27名・定足数14名以上)
 - (理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)、阿久津正大(副理事長・表彰)、青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定・文科省科研費)、大須賀美恵子(学術会議)、岡田明(財務)、垣本由紀子、岸田孝弥、小谷賢太郎、小松原明哲(編集・子どもの人間工学)、斎藤真、酒井一博(横幹連・企業の間人工学教育のあり方検討)、三林洋介(財務)、外山みどり(総務)、土屋和夫、富田豊、福田康明、堀江良典(国際)、吉武良治(広報・テレワークガイド) [18名]
 - (理事兼支部長)：横山真太郎(北海道)、北村正晴(東北)、八田一利(総務・関東)、萩原啓(関西)、長谷川徹也(九州・沖縄) [5名] [計23名]
 - (欠席者)：石田敏郎、大久保堯夫、横森求(東海)、村田厚生(中国・四国)
 - ・監事：大内啓子
 - ・オブザーバー：横井孝志(ISO/TC159国内対策、研究倫理審査検討)、榎原毅(ニーズ対応)、河合隆史(第52回大会長)、芳賀繁(安全人間工学)
 - ・事務局：栗田紀子、青木彩

4. 議事概要

定足数14名を超える23名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、三林洋介財務理事が指名され承認された。

理事会開催に先立ち、3月11日の東日本大震災で犠牲になられた方々に対し、黙祷をささげた。

【審議事項】

- (1)第1号議案 震災対応の件① 2011年度の年会費免除について
東日本大震災で被災された会員に対する年会費の免除措置について、財務理事より提案があり承認された。免除対象は東北支部会員に限らず被災状況を添えて申請した会員、申請期限は2011年12月31日までとする。
- (2)第2号議案 震災対応の件② 仙台市で開催する学会協賛について
JESがヒューマンインタフェースシンポジウム2011(9月、仙台開催)を協賛する意義について理事長から説明があり、審議の後、協賛金10万円の支出とともに承認された。この件につき、シンポジウム大会長でもある北村支部長から、開催を決定した経緯や現状について説明があり、JESの協賛について謝意が述べられた。
- (3)第3号議案 大会講演集の電子公開について
理事長より第50回記念大会(筑波)、第51回大会(札幌)の大会講演集が未だJ-Stageに公開されていない状況について報告があった。引き続き、督促するなど対処する。
- (4)第4号議案 平成22年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

総務理事による事業報告案の説明、財務理事による収支決算案の説明、監事による監査の終了報告の後、審議を経て承認された。

(5) 第5号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

総務理事による事業計画案の説明、財務理事による収支予算案の説明の後、審議を経て承認された。なお、会費収入の見積もり及び予算書の形式について意見が出された。

(6) 第6号議案 著作権規程案について

総務理事よりメール審議に提案した規程案について寄せられたコメント等の紹介及び対応について説明があった。編集委員会との間で投稿規程との整合性をとった規程案を作成し、再度メール審議を行い、次回の理事会に提出する。

(7) 第7号議案 平成23年度大島正光賞、研究奨励賞受賞論文の選定について

表彰委員長より平成23年度大島正光賞候補論文1編、研究奨励賞候補論文2編が提案され承認された。第52回大会時の平成23年定時社員総会にて表彰する。

(8) 第8号議案 平成23年度功労賞受賞者の選定について

表彰委員長より功労賞候補としてアーゴデザイン部会が推薦され、承認された。部会の了承が得られた後、平成23年定時社員総会で表彰する。なお、前回の理事会で功労賞の対象とした方から辞退の連絡があった旨、報告があった。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会 第9回理事会議事録について

メール審議により第9回理事会議事録が確定したことを報告した。

(1-2) 会勢報告(3月末)

2011年3月末現在、会員数1849名(4月に比べ11名減)、賛助会員36社37口(同、1社1口減)

(2) 震災対応の件

(2-1) 学会からのメッセージ発信等

3月28日に理事長名で「東日本大震災被災者へのお見舞いと人間工学の役割」を学会ホームページに掲載するとともに、「人間工学」誌47巻2号に掲載した旨、理事長より報告があった。

(2-2) IEA 会長等からのメッセージ

理事長より、東日本大震災被災に対し、Andrew S. Imada IEA 会長、英国人間工学会をはじめとし、海外から数多くのお見舞いのメッセージをいただいた旨、報告があった。

(2-3) 緊急意見交換会の開催について

理事長及び青木機構長より、4月22日に開催された緊急意見交換会「今、人間工学専門家と日本人間工学会は何をすべきか」について、一般参加者も含め53名の参加を得、いろいろな立場からの発言があった旨報告があった。本理事会においても、学会のできることに、やるべきことについて種々の立場から発言があった。キーワードは、分野：安全人間工学、人間工学全般、労働衛生それぞれの対応、地域：被災地とその他の地域とで異なる問題、避難所の人間工学、ボランティアの労働衛生、タイムスパン：短期的及び中長期的な対応、次に備える視点、その他：情報発信の新しい方法、情報収集の大切さと情報収集に伴う相手への負担、等々

(3) 第52回大会の開催について

(3-1) 第52回大会と東日本大震災の影響についての打合せ会合記録

理事長より、4月12日に第52回大会と学会本部とで打合せをもち、大会を予定通り開催すべく準備を進

めること、緊急時の対応と役割分担等について検討・確認した旨報告があった。

(3-2) JES 会員への大会開催のお知らせ

上記の打合せを受け、第 52 回大会を予定通り開催する旨、学会ホームページ、大会ホームページにて広報した。

(3-3) 大韓人間工学会 (ESK) 会員への大会開催のお知らせ

第 52 回大会を予定通り開催する旨、正式に大韓人間工学会宛てに文書を送った旨報告があった。

(3-4) 学会企画シンポジウムについて

青木理事より、52 回大会での学会企画シンポジウム「世界をリードする人間工学アクセシビリティ規格」の趣旨、内容等について説明があった。

(3-5) 名誉会員を大会へ招待する件

第 51 回大会より始まった名誉会員の大会招待（含懇親会への招待）について、理事長より経緯の説明があり、河合大会長より招待状の発送が終わっている旨、報告があった。

(4) 第 53 回大会について

栃原大会長のもと、2012 年 6 月 9 日（土）～6 月 10 日（日）に、九州大学大橋キャンパスにて開催する。

(5) 第 52 回大会準備状況報告

河合大会長より、①大震災の影響でプログラム委員会の会合は中止とし、メールにて審議、②予定通りの開催を関係者に連絡、③座長決定済み、④原稿未提出は 1 件のみ、等の準備状況の報告があった。なお、5 月 24 日に運営委員会を開催し、当日のオペレーションの確認等最終チェックを行う予定。

(6) 担当・委員会報告

(6-1) 編集委員会

小松原委員長より、人間工学の発行状況等の報告があった。投稿数が減少傾向にあるので、投稿への協力をお願いする。

(6-2) 国際協力委員会

堀江委員長より、IEA Council Meeting 2011 の概要説明があった。詳しくは人間工学 47 巻 3 号に掲載予定の「2011 年 IEA 理事会報告」を参照願いたい。

(6-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、平成 23 年度の TC159 関連予算、会議予定、日本提案で審議中の規格等の説明があった。なお、業務の円滑な遂行のため、非学会員を JENC 委員会の正式な委員とする方策を検討してほしいとの要望があった。

(6-4) 表彰委員会

阿久津委員長より、第 5 回表彰委員会開催の報告があった。

(6-5) 日本学術会議担当

青木担当より、安全工学シンポジウム 2011 のオーガナイズドセッション案「安全の再構築に向けてー東日本大震災により明らかになった課題と安全再構築の視点ー」について説明があった。

(6-6) 横断型基幹科学技術研究団体連合担当

青木担当より、4 月 25 日に定期総会及び緊急シンポジウム「強靱な社会インフラの再構築に向けて科学技術は何をなすべきか」が開催され、理事長声明が出された旨、報告があった。あわせて、会誌「横幹」の第 5 巻第 1 号に特集「人間工学分野における横幹的取り組み」として 5 編が掲載されたことが報告された。

(6-7) 人間工学専門家認定機構

青木機構長より、4月22日に人間工学専門家認定機構総会、講演会、緊急意見交換会が開催された旨、報告があった。

(6-8) 研究倫理審査検討委員会

横井委員長より、委員会活動の平成22年度終了に向けて、現在、本学会で研究倫理審査を実施するかについてまとめている旨、報告があった。

(6-9) ニーズ対応委員会

榎原委員長より、3月上旬にJES-webサイトの英語版が公開された旨、報告があった。

(7) 支部報告

(7-1) 北海道

横山支部長より、平成22年度事業報告、平成23年度事業計画について説明があった。

(7-2) 東北

北村支部長より、被災により支障は多々生じているが、支部の会議をメール審議で行うなどで尽力している旨、報告があった。

(7-3) 関東

八田支部長より、3/18に予定していた見学会を中止したこと、及び2011年度の関東支部大会を12月10～11日に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて開催する予定であることが報告された。

(7-4) 東海

福田理事より、平成22年度事業報告、平成23年度事業計画について説明があった。

(7-5) 関西

萩原支部長より、2011年度の支部大会および総会を12月10～11日に開催する予定であることが報告された。

(7-6) 中国・四国

(7-7) 九州・沖縄

長谷川支部長より、2011年度の支部大会を中国・四国支部と共同開催すべく検討中である旨、報告があった。

(8) 協賛等の依頼

7件の依頼について協賛する旨、理事長より報告があった。

5. 閉会

以上の議事を終え、17時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成23年5月7日

議 長 齊 藤 進 ㊟

議事録署名人 三 林 洋 介 ㊟

議事録署名人 大 内 啓 子 ㊟